

●おてだま情報誌●第25号●2006年12月1日発行【季刊】

NO.

25

# おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

2006年12月



特集1

新居浜市制70周年記念プレ事業

「第15回 全国お手玉遊び」

愛媛・新居浜大会」報告



●地域活動

・尼崎のお手玉の会“ありがとう!おかげさまで”

●連載-各地のお手玉歌

・熊本のお手玉歌「あんたがたどこさ」

●本部からのお知らせ

・新しい支部の紹介

# 「第15回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会」報告

**平** 成18年8月27日(日)「第15回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会」を開催いたしました。これまで熊本・福岡・神戸・岐阜と県外持ち回り開催し、年々大きな大会となり、愛媛県では5年ぶりの開催となりました。

会場となった、リーガロイヤルホテルには、北は岩手県から南は沖縄県まで、多くのお手玉愛好家が集まり、2F伊予の間に入りきれないほどでした。そんな中、地元グレース幼稚園卒園生による、元気いっぱいのお太鼓の演奏で大会が始まりました。

午前中の競技は、個人戦！これまで実力が発揮できず入賞を逃していた選手、初めての参加で緊張している選手、また、両手4個ゆり一般の部の賞品にはハワイ旅行が、その他にも色々な賞品が用意されておりましたので、エントリーも多くありました。目標はそれぞれありますが、各部門とも熱戦が繰り広げられました。

午後は団体戦！チームごとにユニフォームを揃えたり、同じ飾りをつけたりと気合は充分！！ところが思うようにいかないものもお手玉！落ちたお手玉に悲鳴を上げる人、悔しがる人、もちろんガッツポーズの人もあり、会場は終始いろいろな笑顔と歓声でいっぱいでした。今年には特別にイオンショッピングセンター様より「イオン賞」が用意され、団体に贈られました。

大会前日には、お手玉演舞大会・記念講演会・前夜祭がありました。お手玉演舞大会の今年の課題曲は「おさななじみ」と「青春アミーゴ」。福岡大会から人気のお手玉演舞ですが、年々レベルも上がって、今年も接戦でした。

元気いっぱいの太鼓演奏でいよいよ大会の始まりです。

記念講演会では、福岡県レクリエーション協会専務理事の佐藤靖典氏を講師にお迎えし、「お手玉遊び」について「笑顔・元気・やさしさ」のWをあげよう」と題して講演をいただきました。大会後も全国各地から、佐藤先生の講演会、聞かせていたいてととてもよかったですという声も、数多く寄せられました。

さらに、夜の前夜祭には、400人ものご参加をいただき、各支部の楽しいステージ発表や普段会うことが難しい、遠く離れた支部・会員同士の交流の場となりました。

## 第15回 全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会(成績表)

### ●個人戦:一般の部

競技種目	優勝者	準優勝者	敢闘賞者
両手4個ゆりの部	鬼船 憲治(四国中央市)	宮崎 安夫(神前町)	老田 学海(奈良市)
両手投げ3個ゆりの部	福永 十夢(奈良市)	宗光 弘嗣(奈良市)	老田 学海(奈良市)
両手3個ゆりの部	秋月 久幸(新居浜市)	堀川 新(新居浜市)	老田 学海(奈良市)
片手2個ゆりの部	老田 学海(奈良市)	堀川 新(新居浜市)	高橋 和久(四国中央市)

### ●個人戦:小学生の部

競技種目	優勝者	準優勝者	敢闘賞者
両手3個ゆりの部	神沢 昂希(長野県上田市)	岡 実な美(徳島県徳島市)	大井梨紗子(徳島県徳島市)
両手投げ3個ゆりの部	佐藤 瑞穂(福岡県福岡市)	古瀬 涼那(福岡県福岡市)	岩見 奈佳(福岡県福岡市)
片手2個ゆりの部	古瀬 涼那(福岡県福岡市)	金山崎大穂(福岡県福岡市)	岩見 奈佳(福岡県福岡市)

### ●団体戦

区分	優勝チーム	準優勝チーム	敢闘賞チーム
一般の部	全国お手玉の会(奈良市)	尾道フレンド(広島県尾道市)	新居浜工業高等学校(新居浜市)
小学生の部	みなかぜキッズⅡ(福岡県福岡市)	美濃加茂キッズ(岐阜県美濃市)	いけいけばんばん(四国中央市)

### ●お手玉演舞大会

曲目	最優秀チーム	優秀チーム	敢闘賞チーム
青春アミーゴ	くりのみ館(四国中央市)	ひかり(四国中央市)	ずっこけアミーゴ(新居浜市)
おさななじみ	美濃加茂ロマンス(岐阜県美濃市)	精進お手玉の会A(徳島県徳島市)	精進お手玉の会B(徳島県徳島市)

- イオン賞《個人戦の部》最年少賞/井原 美佐希(四国中央市)  
感動ありがとう選手賞/神沢 佑 介(長野県上田市)  
最優秀参加選手賞/金子 民 江(岩手県盛岡市)
- 《団体戦の部》コスチューム賞/尾道お手玉フレンド(広島県尾道市)  
三世代賞/秋月組(新居浜市)  
笑顔満開賞/尾崎のお手玉の会(兵庫県尾崎町)



日高玉ゆりの会「まりと殿様」



美濃加茂お手玉の会・会場の皆さんによる「郡上踊り」

## 大会メモ

【本大会】  
選手・見学・スタッフ/若手から沖縄まで約5,000人  
団体戦 …… 一般の部/91チーム  
小学生の部/6チーム  
個人戦 …… 一般の部/690人  
小学生の部/33人

【お手玉演舞大会】  
おさななじみ …… 5チーム(49人)  
青春アミーゴ …… 4チーム(25人)

## 「個人戦一般の部 両手4個ゆり優勝」 私のお手玉大会

鬼嶋 憲治

私が「全国お手玉遊び大会」に出場するようになって、丸5年が過ぎました。毎回お手玉大会の時期になると、栗原彰ダイケアではお手玉大会を開き、利用者さんに大会の雰囲気を感じてもらったり、日頃の練習の成果を発表してもらったりしていました。今年も例にもれず大会を開いた時、理事長や利用者の方に「今年こそ優勝して来てね」と暖かい励ましの言葉をもらい、例年のない意気込みで臨むことができました。

しかし、いざ大会当日になり、会場を目前にすると、やはり全身の血が冷たくなるような緊張感と不安で、心臓がはりさけそうになっていました。こんな調子では賞どころではないと思います。本戦が始まるまで二人黙々と練習をしました。時間も刻々とせまり、とうとう自分が出るようになった時、さうさまでとは違い、おどろくように冷静になっていました。ですが4個ゆりの予選は、自分がどんな風にゆったのか全く覚えていません。とにかく、心の中で「早く終わって早く合図して」と願っていたのです。

なんとか予選を突破でき、やれやれと息つく暇もなく決勝、しかも、左からで正攻「もうだめだ」と思っていました。なのにいざ始まってみると練習の時よりも正確に投げられているじゃないですか。この時、頭にあった言葉は「優勝」ではなく、「落とさたくない」だったのを覚えています。

そして、どこか遠くで「止め!!」の合図が聞こえた時は、何が起ったのかさっぱりわからず、後ろを振り向き、ダイケアのスタッフが立ち上がり、手を上げているのを見て、優勝できたことを理解できました。

この後、大会スタッフに渡されたうちわには、「ミミズがのたくったような汚い字」しか書けず、味は笑い、ガクガクになり、会場を出た瞬間、家に電話をかけていました。表彰式で渡された賞品のハワイ旅行は、忙しくていけないので母親にあげました。

全国大会初優勝が4個ゆりという心に残る大会でした。この経験をダイケアという介護の場に生かせるように、これからもお手玉に取り組んでいこうと思います。ありがとうございました。



個人戦一般の部



個人戦小学生の部

## 「個人戦小学生の部 両手3個ゆり優勝」 全国大会に出場して

柳沢 昂希

ぼくが、お手玉をはじめたのは、小さい時におばあちゃんがお手玉を作ってくれたことがきっかけでした。おばあちゃんが上手にお手玉をやっているのを見て、ぼくもやってみようと思いたった。

最初は、ぜんぜんできなかったけれど、お兄ちゃんができたから、くやしくてぼくも絶対やってみようと思えました。そして、何回も何回も練習して、あきらめないうでがんばりました。そして、あきらめないうで楽しくなってきた、片手2つや両手3つもできるようになりました。

去年、東京で国際大会があり、両手3個ゆりで3位になることができました。去年の全国大会で、お兄ちゃんが3個ゆりで優勝したので、今年はぼくががんばって優勝したいと思えました。そして、愛媛の全国大会で、練習したかいがあって、3個ゆりで優勝することができて、とてもうれしかったです。

お手玉には、まだまだ知らない技がたくさんあるので、これからもっといろいろな技を覚えて楽しくお手玉をしたいと思っています。

### ◆◆◆◆◆ 【団体戦一般の部 優勝】

団体戦一般の部で優勝いたしました。「奈良お手玉の会たまゆら」は、8年ぶり4回目の優勝となりました。ぜひ、次の大会もがんばってください。今回は、全国大会への感想と合わせて、普段のお手玉遊びに対する思い、また奈良県に伝わるお手玉歌もお寄せいただきましたので、ご覧ください。

## 団体戦優勝の感激をありがとう! そしてこれから。

奈良お手玉の会たまゆら 会長 福永 行洋

大会前のインタビューで思わず「優勝します」と言ってしまったのが、現実になって本当に驚いているというのが、本当のところですよ。

メンバーが涙を流して喜ぶ姿に感激しました。

私はメンバーの中では一番の若輩もので熊本大会からの参加で、福岡、神戸、美濃加茂、新潟県の5回目の参加ですが、この5年間、数多くの方から、色々なことを学び、自分自身、技術も向上し楽しくやっています。手から心に伝わった皆様のぬくもりに感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

お手玉を楽しむことを皆様から教えられ、まずメンバーとお手玉を楽しむことをモットーにやってきました。お手玉に熱中できることは、本当に素晴らしいことだと思っています。奈良では、「わらべうたフェスタ」という数十分団体が集結して行うフェスタでのお手玉大会で選手を選抜してきました。お手玉の技量の高さを保てるのは、この数十分団体の活動とチームワークの賜物だと思っています。

また、音声館(おんじょうかん)のお手玉作ろう会が長年お手玉を作り続けています。小豆と虫除けのためにコーヒード豆を入れて作ります。



団体戦一般の部

## 日本のわらべうた

ふるさとのわらべうた

大和のわらべうた

世代をつなぐ心の架け橋は

子どもたちの遊びの世界

わらべうたの世界にこそあるのです

いにしえの奈良時代に伝えられ

私たち日本人が

お母さんやおばあさんたちから

教えてもらい、受け継いできた

「お手玉遊び」

中には小豆、大豆、お米、数珠玉…

食糧難であったあの頃も

子どもたちの遊びのことを考えて

同じ粒の石ころを

拾い集めて入れてくれた

昔の日本のお母さん

大切にしたい

私たちの「心のふるさと」

奈良音聲館 お手玉作ろう会より

私は思います、このお母さんたちの愛情に

応えることは、私たちがお手玉を思いっきり

楽しんでやることだと。そして、この楽しさを、

また伝承して行くことだと…

私たちの会は、コミュニティ、健康、芸術

文化、平和をテーマに活動しています。

## 「お手玉遊び」

手軽にしかも世代を越えて遊べるお手

玉で、暖かい語り合いと心と心のふれあいを育

みもって命の大切さ、愛情の素晴らしさを

人々に感じ取ってもらおう。

## 健康

心と体を一体にして、五感を総動員して

独自のタイミングでお手玉をゆるることによ

る健康の増進。

## 芸術文化

お手玉は道具作りから始まる手作りの

遊びで、世界に誇れる日本の素晴らしい文

化である。このお手玉文化の普及活動を、

お手玉の展示・作り方教室・遊び方教室等

に行う。

## 平和

国際観光都市奈良からお手玉の楽しさ

を発信し、世界中の人々との交流を深める。

お手玉ゆれば、幸せになれる？

おいしい物食べて、ああ、おいしい！

きれいな物を見て、ああ、きれい！

いいにおいを嗅いで、ああ、いいにおい！

そう、お手玉には不思議な魅力があり、お手

玉を楽しむだけで、心晴れやかな気持ちにな

る。みんなにもこの気持ちわかってほしい。

奈良には、国営飛鳥歴史公園があります。

春は高松塚、秋は石舞台で里山あそびの中で

お手玉をゆつめますが、このたび「めざせお手

玉太子」と名付けた活動が「夢プラン」とい

う催しで優秀賞をいただきました。

古代の息吹を感じ青空の下で、子どもた

ちとお手玉を思いっきり空高く投げ上げる

のが、とても楽しい！

賞を贈みにして、これからも楽しくお手玉

をゆろうと心新にしているこの頃です。

これからもいつでもどこでも！だれとで

も！お手玉です。

## 「団体戦・小学生の部 優勝」 みなかぜキッズ優勝2連覇

みなかぜキッズII 山本 明子

平成16年、全国お手玉遊び神戸大会に

小学生で一人参加した4年生の、岩見ひろか

さんが個人戦で優勝して、南風地区でお手玉

遊びが広がりました。そして、17年の美濃加

茂大会は5年生の岩見さん、田中さん、林田

さん、宮本さん、3年生の吉綾さん5人が参

加しました。団体戦も個人戦もそれぞれに

優勝して沢山「褒美をいただいた、地元の方々

に申し訳ない気持ちだったことを思い出しま

す。今年の新居浜大会は、岩見さん、吉綾さ

んと、後の3人は初めて4年生の有田さん、5

年生、3年生の佐藤さん姉妹です。3人が初

めて参加ですので、私は「何にも考えずに、リ

ラックス、リラックス、楽しくやったらいい」といい

ました。子どもたちは黙って指を二本たてた(優

勝)絶対これですと言つて5人で手を重ねて



団体戦・小学生の部

「おう」と気合をかけました。5人が向き合いよく話し合い、上級生がうまくまわっていました。あとは何も口出すことはありません。自分たちで、指示に動きよく集中していた。試合中の行儀もよくまもり、優勝2連覇ができました。子どもたちがお手玉遊びで大きく成長したことを感じました。(ふりかえり思えば…)

南風地区の街は新興住宅地で小学校が開設されたばかりの頃でした。福岡県レクリエーション協会が「福岡お手玉会」が設立された。子どもとき遊んだお手玉、これは街のコミュニティに許可をいただき、小学校の校長先生に許可をいただき、老人会の方々にも声をかけ小学生と一緒に、学校の多目的ホールで始めた、新しい公民館ができた移動し、土曜お手玉広場となりました。(現在子ども約30名)子どもたちもいろいろ、楽しいことばかりではありません。子どもたちを怒ったこともありませんが、子どもたちは可愛いのです。そして、お手玉4個ゆり四段を岩見さん、宮本さん、佐藤さん、吉綾さんが取得しました。小さい後輩たちが先輩を目指してがんばっています。幼児たちもお母さんと一緒にきます。お手玉ダンス、演舞なども楽しみ、毎年小規模ながらも福玉会の方々の力をかりて、南風お手玉大会を開いています。

お手玉遊びの会の方たち、また子どもたちの保護者、地域の方々の協力があったので、お手玉遊びです。優勝2連覇日本二になって前原市長からお祝いの言葉をいただき、広報誌の表紙に5人の写真が紹介されました。あちこちから指導の依頼が来るようになり、お手玉遊びの大きな輪が広がります。最後に新居浜大会では大変お世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。



# 地域活動 紹介



“ありがとう!おかげさまで”

～笑顔いっぱい、楽しさいっぱい「お手玉遊び第1回尼崎大会」をおえて～

尼崎のお手玉の会 会長 池辺 美保子

## 兵

兵庫県尼崎市で「お手玉遊び第1回尼崎大会」を尼崎市東七松町の中央中学校で開催しました。

のじぎく国体記念競技スポーツ六福協賛事業として、また尼崎市制90周年記念市民祭の事業として承認をいただき、市民祭の10月22日(日)に実施することにして、一般市民の方にもお手玉遊びに参加してもらったり、見てもらい、知ってもらおうのねらいがありました。

会場準備は、当日7時からという制約の中で、少スタッフながら持ち前のバイタリティーで見事クリア、ハラハラ〜わくわく〜ドキドキしながら開会を待ち、広い体育館へリレーに引率された元気な子どもたちや、一般の親子づれ、神戸、西宮、宝塚からも参加いただき、一気に活気あふれる雰囲気になり、ほつと胸をなでおろしました。

「すてきな出会いをお手玉遊びで元気に楽しく、最後までがんばりましょう」で開会宣言、来賓の阪神南警察局長・加藤充久さま、尼崎市議員・津田三男さまのお祝いの挨拶をいただき、スタート。ルール説明、ウォーミングアップの後、いよいよ競技の個人戦の始まりです。100人ぐらいからどんどんアウトになり、最後は、お手玉頭のせ、さらに片足立ちでと、なかなかのがんばりでした。どの顔もどの顔も、目が輝き、真剣そのもの!集中力ですごい!お口もぼつかり開いて、なんともほほえましい表情、ポトリと落ちた時の悔しそうな残念そうな顔や、苦笑いの表情などいろいろと見せてもらい、心が和む思いでした。

また、一つの企画として、尼崎大会なので尼崎の人たちだけの競技をし、楽しんでもらえたのも好評でした。個人戦の表彰準備の間、のじぎく国体キックラクターのハバタンのダンスを大人も子どもも踊り、世代間交流のひと時でした。昼食時は、市内の幼稚園、保育所の先生方による人形劇、アニメソングで小さな子どもたちのタイム、やつてるほうも見るほうも楽しそうでした。

午後からはお手玉遊び団体戦、子ども8チーム、大人10チームの総当たりで展開、飛び入り参加もあり、初めて出会った人がチームを組んでいきなり楽しまれたりも良かった!どのチームも総当たりなので何度も競技体験ができ、だんだん白熱化し、イベントの間をさいて尼崎市長・白井文さま、教育長・保田薫さまが来てくださって、励ましの言葉をいただき、お手玉も一緒に楽しんでくださいました。お会いするたびに、これからも良き理解者になっていただけると思います。

最後に、神戸のお手玉の会の方々に模範演技を披露していただきました。参加者一同「す〜い〜い」と見とれてしまいました。この大会をより印象深くしてもらった模範演技でした。

「尼崎のお手玉の会」は平成15年10月に設立して3年目になりました。少しお手玉ができるメンバーと、まったくはじめてからのメンバーで充足し、自分自身楽しみながら楽しくやっつけていこうということで活動を進めています。この度は、いろいろな皆さんのご支援をいただき、1月に提案、4月から企画・立案・運営・評価とこつこつと準備を進めてきました。日頃は、ボランティアセンターに登録し、デイケアサービスセンターへ定期的に出かけたり、幼稚園・小学校の子どもクラブ、いろんなサークルへお手玉遊びの指導に行ったりで、普及活動を広めています。

今後は、この大会を市民祭に定例会としていけたらと考えています。一人一人が一生懸命努力し頑張ってくれたので、この「第1回尼崎大会」が盛況に終わったこと、また各支部の皆様、各団体の皆様のご支援、ご協力に心から感謝です。

大会当日の夜、神戸お手玉の会の北村事務局長より「尼崎大会成功でおめでとう」とメールが届きました。「あ〜何となくうまくできたんやない〜」と充実感を味あわせてもらい、次へのパワーになりました。ありがとうございました。

## 本部からのお知らせ

第54号

新支部  
紹介

和歌山支部  
「和歌山のお手玉の会」  
会長/森 勝代さん

\*\*\*\*\*

### ◎指導者養成講習会について

平成19年度の指導者養成講習会の開催が決定いたしました。内容につきましては、楽しい講習会となるよう現在計画をしております。

会員の皆様には、改めてご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

開催日:平成19年3月24日(土)~25日(日)

月刊「インタビュー」11月号  
～新居浜・西条・  
四国中央地域に生きる人  
の素顔に迫る～

藤田会長が、月間インタビュー

11号の取材を受けました。日本のお手玉の会ができた経緯や、お手玉に対する温かい思いが、ギュッと凝縮され掲載されております。

また、11号より、会の顧問:大西伝一郎先生の連載もごさいますので、ぜひご覧ください。

※お問い合わせは、日本のお手玉の会事務局までお願いいたします。



# 連載 各地のお手玉歌 クローズUP

## 『あんたがた ぶいゆ』

おばあちゃんから、二代飛んで孫へと伝承されてきた「お手玉歌」、しかし、子どもには子どもの世界があつて、生活の場であり、学習の場でもある。いわゆる、遊びの世界。伝承遊びのひとつは、「朝一夕に創られたものでなく、長い歴史的過程の中で伝承継続によつて、今日まで遊事生命を保持し、管理してきた文化遺産。」(書籍「伝承遊び」小山清実著より)

お手玉歌とまりつき歌は、同じ歌で遊ばれているのがあります。その代表格が「あんたがたごさ」です。

三世代をつなぐお手玉まわしで歌う、「あんたがたごさ」人から人へ、手から手へ、そして心へ、喜びと笑顔を携えて、送っていくお手玉。みんなで歌いながら、「あんたがたごさ」、ひごさ……と、「さ」のころでお隣さんへお手玉を送る。それだけで嬉しくなる。受け継がれてきた、わらべうたの世界で遊ぶお手玉の温もり。

あんたがたごさ 肥後さ 肥後ごさ

熊本さ 熊本ごさ 船場さ

船場山には 狸がおつてさ

それを狸師が鉄砲で撃つてさ

煮てさ 焼いてさ 食つてさ

それを木の葉でちよいとかわせ



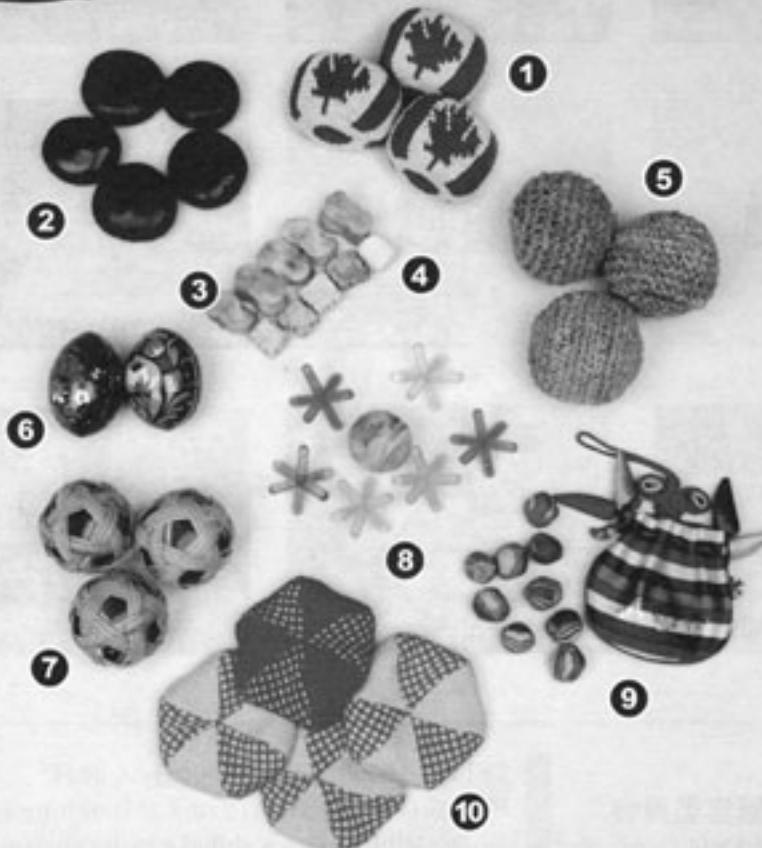
東北地方から九州まで、全国各地で歌われており、歌い替えも多い。特に「船場川」と「船場山」にわかれ、それによつて獲物が「蝦」(エビ)になつたり「狸」になつたりする。

また、船場川については、現在も熊本城沿いに流れている。坪井川のごとく、藩政時代まで馬を洗つたところから「洗馬川」の異名が生まれてもつていふ。

また、熊本城周辺に「船場」の地名が今も残つており、「船場山」をこれにあてるものもある。しかし、そこには山はない。いすれにしても坪井川の塩屋町に架かる橋には、この歌の主役「蝦」(エビ)の石像が飾られ、この歌の舞台が熊本であることを示している。

(口づたひんあまの)

## 『表紙の解説』 ※国名/素材・説明



- ① カナダ/木綿糸  
・ジャグリングボールに使われる
- ② パキスタン/豆  
・指に挟んで、音を楽しんで遊ぶ
- ③ モンゴル/羊の骨(距骨)  
・5個1組で、一つずつ指に挟んで遊ぶ
- ④ イギリス/焼きもの  
・ファイブストーンと呼ばれる
- ⑤ ネパール/麻糸  
・ジャグリングボールに使われる
- ⑥ ウクライナ/鴉鳥や鷺鳥の卵  
・ピサンキと呼ばれ、現地では遊びには使われていないようです
- ⑦ ミャンマー/竹  
・ジャグリングボールに使われる
- ⑧ アメリカ/プラスチック  
・ダイヤモンドジャックスと呼ばれ、大きな玉が親玉になる
- ⑨ 韓国/焼きもの  
・コンギと呼ばれ、遊び方は日本の寄せ玉に似ている
- ⑩ 日本/ちりめん(6枚はぎ)  
・寄せ玉や、ゆり玉に使われる

第15回

# 全国お手玉遊び 愛媛・新居浜大会 写真集

新居浜市制70周年記念プレ事業



尾道お笑いボランティアの会 ちんどん只今参上!



島根県で活動されている  
高木文子さんとその皆さん



又経の再会



乾杯〜!



長野県「南信おしなご会」の皆さん



新支部「和歌山のお手玉の会」の皆さん



奈良お手玉の会「たまゆら」の皆さん



みんな一緒にウォーミングアップ



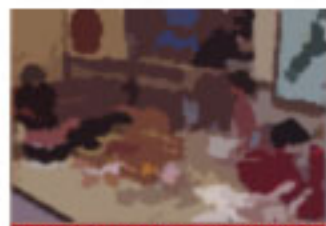
総合司会 伊藤有希さん



愛媛県知事 加戸守行 様



新居浜市市長 佐々木龍 様



おもちゃ図書館「きしゃぼんぼ」の皆さん



楽しいお手玉作り教室 後ろにはお手玉の歴史、会の歴史、支部活動の展示がありました



懐かしい竹がえし、まりつきのコーナー



見る人の心が温かくなります  
創作和紙人形コーナー



【発行・編集】

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644

E-mail:tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ:http://www.shikoku.ne.jp/otedama/